

下関市入札監視委員会（第16回）審議概要

開催日時	平成21年2月23日 13:30		
場所	下関市勤労福祉会館 第4会議室		
委員	大河原貴（公認会計士） 太田周二郎（大学教授） 岡孝（高等学校教諭） 中谷正行（弁護士）		
審議対象期間	平成20年7月1日 ～ 平成20年12月31日		
審議対象総件数	492件	（抽出工事名称）	
抽出 案件	条件付一般競争 入札	278件	長府浄水場排水処理施設整備事業
	指名競争入札	183件	砂子多川都市基盤河川改修工事
	随意契約	31件	湯町地区まちなか広場（仮称）造成工事
指名停止等の運用状況	11件40社		
低入札価格調査制度 対象工事の発生状況	8件		
議事概要及び委員か らの意見・質問、それ に対する回答等	議事項目、意見等	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	特になし		

別紙

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
<p>入札方式別発注工事総括表</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 前年同時期と比較して件数が減っていることについてどう考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年は大型工事が多かったことから例年よりも多かった。
<p>長府浄水場排水処理施設整備事業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 文書は公表しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 全部公表している。 結果もホームページで公表している。(市長部局)
<ul style="list-style-type: none"> 入札参加業者2グループは予想していたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 水処理メーカーは何社かあり、5, 6社で考えていた。設計・施工ということで2社になったと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> 同種・同規模の実績とはどういうものか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札説明書の8～9ページで示している。過去10年で本件のような大型工事の実績を求めるのは困難であろう事から、可能であると思われる程度の実績を求めた。
<ul style="list-style-type: none"> 審査項目はどのように設定しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインを参考に独自に設定している。

<p>砂子多川都市基盤河川改修工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 西日本旅客鉄道との覚書ほどの段階で交わしているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にこの工事が近接工事に当たるか協議する。この協議の結果を受けて覚書を交わすことになる。
<ul style="list-style-type: none"> 日本鉄道施設協会の認定を受けていることを入札条件にして条件付き一般競争入札で行うことはできなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該認定は個人に与えられる資格で条件付き一般競争入札で行うとどの業者に有資格者がいるか確認が取れないことから指名競争入札で行っている。
<p>湯町地区まちなか広場（仮称）造成工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 現在施工中の新築工事と一体で行った方が価格が下がったのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事ごとで経費のとらえ方も異なっており複合というのは難しいと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> 設計額と予定価格が同額になっているのはどういう理由か。 	<ul style="list-style-type: none"> 随意契約の場合は電子くじを使用しない。本件は結果的に同額で決定されたものである。